

## II 令和3年度事業の実施状況

### 1. 通常総会

- ・日 時 令和3年4月27日(火) 午後3時～
- ・場 所 ホテル熊本テルサ
- ・出席会員数 出席社員53社、委任状17社 (社員総数 70社)
- ・議 題 (1) 令和2年度事業報告  
(2) 令和2年度決算報告並びに監査報告の承認  
(3) 令和2年度公益目的支出計画実施報告書並びに監査報告の承認  
(4) 政治団体の設立に関する件  
(5) 令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算に関する件

### 2. 理事会

- ・ 4月22日 (1) 国土交通省九州地方整備局熊本県内事務所との意見交換の件  
(2) 第49回通常総会(令和3年度)の件
- ・ 7月26日 (1) 代表者変更の件  
(2) 全測連九州地区協議会「令和3年度経営協議会(熊本)」の件  
(3) 各委員会の令和3年度事業計画、協会創立50周年事業関係の件  
(4) 令和5年度日本学校農業クラブ全国大会の熊本大会「平板測量競技大会」
- ・ 9月15日 (1) 全測連九州地区協議会「令和3年度経営協議会(熊本)」の件  
(2) 各委員会の令和3年度事業計画、協会創立50周年事業関係の件  
(3) 令和3年度予算執行状況(協会等)の件
- ・ 10月22日 (1) 自由民主党熊本県連・熊本県との意見交換説明資料の件  
(2) 全測連九州地区協議会「令和3年度経営協議会(熊本)」の件  
(3) 各委員会活動報告の件  
(4) 衆議院議員総選挙の件
- ・ 11月16日 (1) 代表者変更の件  
(2) 全測連九州地区協議会「令和3年度経営協議会(熊本)」の件  
(3) 自由民主党熊本県連・熊本県との意見交換説明資料の件
- ・ 12月21日 (1) 国、熊本市との意見交換の項目の件  
(2) 慶弔見舞規程の改正案の件  
(3) 協会創立50周年記念事業の検討状況  
(4) 静岡県・鹿児島県・熊本県との災害協定意見交換の件  
(5) 熊本農業高校との連携事業の件  
(6) 協会等の予算執行状況(11月末現在)  
(7) 令和4年秋の褒章候補者の推薦の件  
(8) 新年挨拶回りの件
- ・ 1月11日 (1) 当面の協会行事の件  
(2) 第50回(令和4年度)通常総会日程等の件
- ・ 3月31日 (1) 令和3年度事業報告及び令和3年度決算(見込み)の件  
(2) 令和4年度事業計画(案)及び令和4年度予算(案)の件

(3) 協会創立50周年事業概要(案)の件

(4) 第50回(令和4年度)通常総会の件

### 3. 委員会

#### (1) 総務厚生委員会

- ① 総務部会では、発注機関である熊本県・自由民主党熊本県支部連合会との意見交換、国土交通省九州地方整備局熊本県内事務所とは令和4年度に延期、熊本市は要望書手渡し、BCP(業務継続計画)の策定(※資料1)、慶弔見舞規程の見直し(※資料2)を行った。令和元年度から懸案となっていた県外資本による事業承継に係る入会審査の在り方については、令和2年度に続き令和3年度も新たな入会申込みがなかったこと等もあり結論まで導くことができず、令和4年度に検討を行うこととした。また、ボランティア活動の在り方の検討についても引き続き検討することとした。
- ② 厚生部会では、賀寿祝賀会、営業担当者研修会は実施したものの、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、親善ボウリング大会、親善ゴルフ大会、親善ソフトボール大会、新春懇親会を2年続けて中止せざるを得なかった。

#### 【総務厚生委員会】

(1) 第1回 3月9日開催

- ・協会慶弔見舞規程の改正(案)
- ・協会BCP(業務継続計画)(案)
- ・令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画について

#### 《総務部会》

(1) 第1回 11月24日開催

- ・協会慶弔見舞規程の見直しについて
- ・協会BCP(業務継続計画)について
- ・自民党県連・熊本県執行部との意見交換の資料について

#### 《厚生部会》

(1) 第1回 5月11日開催

- ・賀寿祝賀会 6月9日(水) → 11月に延期を決定
- ・親善ボウリング大会 6月12日(土) → 中止を決定

(2) 第2回 8月10日開催

- ・親善ゴルフ大会 9月11日(土) → 中止を決定
- ・親善ソフトボール大会 10月16日(土) → 中止を決定

- ※ 賀寿の祝い → 11月16日(火) ホテルキャッスル 18:30～  
参加者 58名 古希 対象者6名(欠2名)  
還暦 対象者1名
- ※ 営業担当者研修会 → 12月3日(金) KKRホテル熊本 18:00～  
参加者 52名(外役員等8名)

## (2) 経営広報委員会

- ① 経営安定部会では、協会会員の社員実態調査(R3.4)、県内発注業務工期調査(R3.10)を行い発注機関との意見交換で業界の現状と課題の改善を働きかける。また、令和3年度(一社)全国測量設計業協会連合会九州地区経営協議会で、「働き方改革関連法と大規模災害時における労働管理について～ウィズコロナの時代を見据えて!!～」のテーマについて熊本県測量設計コンサルタント協会員の現状を説明する。

さらに、県農林水産部に対して林道災害復旧事業の積算項目の見直し、県土木部に対して災害復旧事業の測量設計業務積算基準において「県地域振興局毎における設計業務計上項目の統一」、「河川災害は、数河川合算ではなく河川毎に測量数量の計上」、「伐採・除草に伴う集積・積込・運搬・処分費の計上」について要望を行った。

なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により、南九州地区災害応急対策講習会や静岡県・鹿児島県測量設計業協会との災害協定協議等は中止とした。

- ② 広報部会では、測量設計業の普及・啓発等の一環として、「測量の日」の記念講演会(R3.6.8)の開催、測量設計業イラスト(働き方改革編)を掲載した「協会だより No.26」(R4.1)を発刊する。また、担い手確保の取組として、インターンシップ、熊本工業高校コンサルタントコース連携支援事業等に取り組んだ。

### 【経営広報委員会】

- (1) 第1回 5月28日開催

- ・令和3年度の事業計画
- ・各委員の役割分担
- ・令和3年度「測量の日」記念講演会について

- (2) 第2回 3月18日開催

- ・令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画について

### 《経営安定部会》

- (1) 第1回 7月9日開催

- ・積算歩掛(熊本県、熊本市の通常歩掛、災害歩掛)について
- ・災害協定について(熊本県、熊本市の支援活動者名簿、県へ意見書提出)
- ・担い手確保について
- ・令和3年度(一社)全国測量設計業協会連合会九州地区経営協議会について

### ※ 林道災害復旧事業に係る測量・設計業務委託積算項目の見直し

(令和3年6月16日付け林業振興課長通知)

《ポイント》・詳細は次頁参照。

- ・災害現場は、既設林道の位置、崩壊地の形状、主要構造物の位置を特定させ原形復旧する必要があることから4級基準点測量及び現地測量を計上する。
- ・構造物や法面の予備設計及び実施設計は、必要に応じ計上する。 etc

※ 令和3年度 自由民主党熊本県支部連合会・熊本県との意見交換(令和3年11月30日)

① 積算の改善

ア. 地域振興局毎における設計業務計上項目の統一

・協会調査では、護岸詳細設計の場合であるが、下の表のとおり各振興局でバラツキがあるので、統一をお願いしたい。

【参考】・・標準護岸詳細設計(片岸)

	宇城	上益城	菊池	玉名	鹿本	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草
設計計画	○	○	○		○	○	○	○	○	
現地踏査	○*	○*	○*	○		○	○	○		○
配置計画		○			○		○	○		
構造物検討		○								
施工計画				○			○	○		
仮設計画	○				○	○	○	○		
図面作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
数量計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
照査	○		○	○	○	○	○	○		○
報告書作成						○				○

(注) \*は、1/2 計上。

(出典：協会調査)

イ. 河川災害は、数河川合算ではなく河川毎に測量・設計数量の計上

・例えば、5河川を合算した延長と5河川毎に積算した場合では、測量業務と設計業務において差が生じ合計で1千万円程度の差が生じる。作業は各々に生じているので実態に則した積算をお願いしたい。

ウ. その他(例)

- ・河川災害復旧事業測量設計業務委託で、伐採・除草に伴う集積・積込・運搬・処分費の計上 など



※令和4年度に災害復旧事業の測量設計業務の積算基準改定(予定)

- ① 項目の統一
- ② 現地測量業務は合算ではなく河川毎
- ③ 設計業務において、測量業務と同時発注の場合の1/2計上ルールの廃止

※簡易査定の標準歩掛は引き続き検討

② 大規模災害時の簡素化査定の在り方

・大規模災害に備え、①簡素化査定を実施した受発注者双方の課題の整理、②簡素化査定の積算歩掛の制定、③簡素化査定後の実施測量設計のスケジュール等について、意見交換の場をお願いしたい。

③ 大規模災害時と改正労働基準法による時間外労働の上限規制

・労基法第33条(災害特例)の労基署への申請等では大きな混乱はありませんでした。

※ 令和3年度(一社)全国測量設計業協会連合会九州地区経営協議会

\*開催日時 令和3年11月19日(金) 13時30分～

\*会場 ANAクラウンプラザホテル「熊本ニュースカイ」

\*本会議

・意見発表・意見交換

統一テーマ「働き方改革関連法と大規模災害時における労務管理について

～ウィズコロナの時代を見据えて～

・特別講演

①特別講演Ⅰ

・演題 「最近の建設行政の課題について～働き方改革関連法と大規模災害時における労務管理～」

・講師 国土交通省九州地方整備局 企画部 技術調整管理官

②特別講演Ⅱ

・演題 「命を守る天気予報の見方、近年の気象災害について」

・講師 気象予報士

\*参加者 約 100名

(実態調査)

※ 会員各社社員実態調査 → R3. 4

※ 熊本県内発注業務工期調査 → R3. 10

(イベント)

※ 土木の日(11/18)イベント(絵画コンクール、バスツアー) → 中止

(災害関係会議等)

※ 熊本県土木部災害協定連絡協議会(R3. 5 予定) → 中止

※ 南九州地区 R3 災害応急対策講習会(熊本:R3. 6 予定) → 中止

※ 静岡県・鹿児島県測量設計業協会との災害協定協議(熊本:R4. 2 予定) → 中止

《広報部会》

(1) 第1回 7月9日開催

・協会だより No.26 の構成案について

(2) 第2回 8月31日開催

・協会だより No.26 の構成の最終確認について

※ 協会だより No. 26 (測量設計リスト掲載(働き方改革編)) → R4. 1 郵送にて配付

※ 「測量の日」記念講演会

・日時 :令和3年6月8日(火) 午前10時～

・場所 :ホテル熊本テルサ テルサホール

・講演内容 :「働き方改革への取組と労務管理について」

(講師:熊本働き方改革推進支援センター)

・「企業連携による持続可能な技術者の育成について」

(講師:熊本県立熊本工業高等学校教諭)

・「総合評価落札方式について」

(講師:熊本河川国道事務所工事事品質管理官)

・参加者:約100名

### ※ 担い手育成関係

① インターンシップ (熊農 (7月)、測専 (9月)、開新 (11月)、熊工 (12月))

ア) 熊本農業高校:7/5~7/9、14社受入希望(1社1名)、7社で7名を受入

・アジアプランニング(株)、(株)有明測量開発社、(株)熊本県弘済会、  
三共コンサルタント(株)、(株)大進コンサルタント、トラストコンサル  
タント(株)、パブリックコンサルタント(株)

イ) 九州測量専門学校:中止

ウ) 開新高校:中止

エ) 熊本工業高校:12/6~12/10、3社で6名を受入

・旭測量設計(株)、(株)九州開発エンジニアリング、(株)水野建設コンサル  
タント

② 熊本工業高校コンサルタントコース連携支援事業

ア) 現場実習:5/19に八代復興事務所で「令和2年7月豪雨」を学ぶ。

イ) 基準点・路線縦横断測量実習とICT測量技術(6/16、6/21、6/23、7/7、7/23)

・参加生徒数:14名

・講師会社:旭測量設計(株)、(株)有明測量開発社、(株)興和測量設計、(株)水野建設コンサル  
タント、(株)ワコー

③ 建設業魅力発見フェアへの協会企業参加促進 (R3.4~)

・(株)旭技研コンサルタント、(株)有明測量開発社、アジアプランニング(株)、(株)興和測量設計、  
(株)ワコー

④ 県立工業高校へのオープンキャンパス支援 → 中止

⑤ 高校生向け建設産業ガイダンス → R4.1 (旭測量設計(株)、協会)

⑥ くまもとお仕事探検フェア2021 → 中止

⑦ つくる部・建麗会 → 中止

### (3) 技術委員会

① 研修・人材育成部会では、昨年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大でできなかったRCCM資格取得支援講座、Web方式と併用で技術委員会勉強会(CPD研修)、「グリーン搭載型グリーンレーザー体験講習会」を実施するとともに、(一財)熊本県建設技術センターへの講師派遣を行った。なお、熊本市職員測量研修、先進地視察等については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止せざるを得なかった。

RCCM資格取得支援講座の講師謝金については、来年度から講座外の個別添削指導について講師の負担等も考慮し8時間を上限として支払うこととする(ただし、協会の講師料等謝金支給規程で定める1時間2,000円の単価は据え置くこととする。)

測量士、技術士、RCCM資格取得者数の逡減傾向が見受けられるため、引き続き協会全体として技術者育成に取り組む必要がある。

② 建コン部会では、昨年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大でできなかった「技術発表

会」を対面とリモート配信の併用で実施するとともに、立野ダム工事事務所の協力を得て現場(検証)研修会を実施した。

また、関係機関と連携し、地理空間情報産学官協議会、i-Con 推進に関する調査・研究に取り組んだ。

### 【技術委員会】

- (1) 第1回 5月25日開催
  - ・令和3年度の事業計画(新型コロナウイルス感染禍での各事業の実施の有無)
  - ・各委員の役割分担
- (2) 第2回 3月14日開催
  - ・令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画

### 《研修・人材育成部会》

- (1) RCCM資格取得支援講座
  - ① 7月17日(土)、8月28日(土)(午前のみ)の2回開催
  - ② 講義は、問題Ⅰ(業務経験論文)、問題Ⅲ(管理技術論文)を中心に講義
  - ③ 講師は9名  
(株旭技研コンサルタント、(株)有明測量開発社、アジアプランニング(株)(2)、(株)熊本建設コンサルタント、(株)十八測量設計、(株)タイセイプラン、(株)大進コンサルタント、(株)水野建設コンサルタント)
  - (注) 講義及び講義時間外の論文添削指導等に対し謝金2,000円/hを支払う。
  - ④ 受講生：19名 (R1：36名)  
 ※ 受験者：17名(2名未受験) (R1：24名)  
 ※ 合格者数：2名 (R1：9名)

### (2) 技術委員会勉強会(CPD研修) ※Web会議併用

平成28年から技術者等の資質向上を目的として、会員企業の技術者を対象に勉強会を開催している。

今年度は、Web会議併用とし以下のとおり開催し、延べ93名の参加があった。

#### 技術委員会勉強会(CPD研修)

※第4回から1コマ45分

	7/29(木) 《第1回》	8/26(木) 《第2回》	9/30(木) 《第3回》	10/28(木) 《第4回》
13:30 ～ 14:30	・「コンクリート構造物の品質確保」  ・旭測量設計(株) 山本 茂雄	・「水路トンネルの裁荷試験」  ・(株)有明測量開発社 上見 謙太	・「失敗から学ぶ」  ・(株)和調査設計 宮崎 雄二	・「熊本地震・橋梁災害復旧(上部工横移設)」  ・(株)熊本建設コンサルタント 竹下 寛史
				・「2018年制定 コンク

14:30 ～ 15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国土強靱化「盛土耐震化」」</li> <li>・(株)旭技研コンサルタント 山本 真由美</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モルタル吹付法面の調査及び対策工」</li> <li>・(株)ウラタ・シビル・コンサルタント 田尻 雅彦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道路防災、急傾斜事業の現状と今後の課題」</li> <li>・(株)河津測量設計 日本サミコン九州支社 長尾 賢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リート標準示方書(維持管理編)の解説</li> <li>・(株)九州開発エンジニアリング 北里 和幸</li> </ul>
15:30 ～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「GISの概要及び農業農村整備事業への適用」</li> <li>・アジアプランニング(株) 田畑 智廣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「既設管水路の機能診断調査及び健全度評価」</li> <li>・(株)オークスコンサルタント 田上 泰生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「熊本県内における環状交差点の計画及び設計事例」</li> <li>・カンセイコンサルタン(株) 安田 一路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)九英 倉岡 和徳</li> <li>・「伝えたい技術・知らないと困る技術」</li> <li>・(株)建設プロジェクトセンター 中村 英樹</li> </ul>
受講者	26名 (Web9名)	21名 (Web17名)	24名 (Web12名)	22名 (Web14名)

(注1) 土木学会の設計CPDは、1回講義で3ポイント。

(注2) リモート環境改善のため、パソコン(145,000円)、プロジェクター(174,400円)、スピーカー(72,800円)等をリース(7千円/月)で購入・活用。【総額 539,220円】

### (3) 技術者講師派遣

#### ① (一財)熊本県建設技術センター「工事測量初級(講義・実習)」(4/21～23)

講師:(株)有明測量開発社、(株)興和測量設計、(株)十八測量設計、  
(株)福永測量設計、(株)フジ建設コンサルタント、(株)富友測量設計、  
(株)ホープ建設コンサルタント

〃 「地質調査と構造物設計(講義)」(7/8～9)

講師:(株)有明測量開発社、(株)東亜建設コンサルタント、(株)水野建設コンサルタント

〃 「熊本県の地質(講義)」(講義)(9/22)

講師:(株)東亜建設コンサルタント

#### ② 熊本市職員測量研修(講義・実習)

→ 中止

### (4) 技術研修会

#### \* ドローン搭載型 LiDAR グリーンレーザー体験講習会

- ・主催・共催 (一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会、(株)久永(熊本/八代営業所)
- ・日時 令和3年11月17日(水) 9:00～16:00
- ・場所 嘉島町総合運動公園、(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会会館
- ・内容
  - ・機器の説明・デモフライト実施
  - ・ドローン搭載型グリーンレーザー概要・解析作業説明・取得データの利



活用

・参加者 26名

(株)旭技研コンサルタント、アジアプランニング(株)、(株)有明測量開発社、  
(株)九英、(株)シー・バス・プランニング、(株)スベック、双建コンサルタント  
(株)、(株)第一コンサルタント、(株)大進コンサルタント、西日本測量設計  
(株)、(株)八千代コンサルタント、(株)ワコー、

(5) 先進地視察・報告会

→ 中止

《建コン部会》

(1) 第1回 6月15日開催

- ・技術発表会（Web配信、役割分担）について
- ・現場研修会の研修案件の選定について（立野ダム）

(2) 第2回 9月28日開催

- ・技術発表会の工程・役割分担等について
- ・立野ダム現場研修会の研修について

(1) 技術発表会 【参加者：会場100人、リモート25人】

\* 開催日時 令和3年11月10日(水) 午前10時～午後5時

\* 会場 ホテル熊本テルサ テルサホール ※リモート配信併用

\* 技術発表

- ①「車両裁荷試験を用いた石橋の耐荷性能評価に関する一考察」  
尾馬瀬 宏美 (株)大進コンサルタント)
- ②「河川災害復旧事業における三次元点群データの活用と有用性」  
大森 紘 (株)興和測量設計)
- ③「ため池施設への防災ICT技術の導入」  
田中 啓文 (株)有明測量開発社)
- ④「三次元点群データ作成手法の相違による精度への影響」  
田島 英樹 (アジアプランニング(株))
- ⑤「技術承継に対する若手技術者としての取組」  
米山 裕貴 (株)建設プロジェクトセンター)
- ⑥「美里町災害復旧事業における課題と対応策」  
坂田 勸斗 (株)水野建設コンサルタント)

\* 基調講演

- ・演 題：「流域治水とは？」
- ・講 師：熊本県立大学 特別教授(緑の流域治水研究室) 島谷 幸宏 氏

\* 特別発表

- ・演 題：「企業連携による先端測量技術の習得 他2題」
- ・発表者：熊本県立熊本工業高等学校 土木科3年生

(参考) 論文指導等事前勉強会 (8月11日、8月25日)

- ・滝川顧問、柴田(株)熊本建設コンサルタント)、大森(株)大森エンジニアリング)、

服部(アジアプランニング(株))、松野(株有明測量開発社)、出口(株十八測量設計)、  
今園(株水野建設コンサルタント)

(2) 現場(検証)研修会

- \* 日 時 令和3年12月10日(金) 10:00~11:45
- \* 場 所 南阿蘇村大字立野地内
- \* 対象事業 立野ダム建設事業
- \* 発注者 国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所
- \* 受注者 西松建設・安藤ハザマ・青木あすなろJV
- \* 説明者 島田稜一立野ダム工事事務所調査設計課建設専門官 他
- \* 参加者 27名

旭測量設計(株)、(株)旭技研コンサルタント、アジアプランニング(株)、(株)阿蘇測量設計、  
(株)ウラタ・シビル・コンサルタント、(株)栄泉測量設計、カンセイコンサルタント(株)、  
(株)九英、(株)熊本建設コンサルタント、(株)建設プロジェクトセンター、(株)興和測量設  
計、(株)三和測量設計、(株)新興測量設計、(株)スペック、(株)タイセイプラン、(株)中央測  
量設計、(株)東亜建設コンサルタント、東和測量設計(株)、トラストコンサルタント(株)、  
(株)長田測量設計、西日本測量設計(株)、(株)水野建設コンサルタント、(株)八千代コンサル  
タント

(3) 地理空間情報産学官協議会に関する調査・研究・実施

- ・引き続き取り組んでいく。

(4) 「i-Con 推進」に関する調査・研究・実施(県との意見交換会も含む。)

- ・「公共施設台帳システム検討会」に引き続き参加し取り組んでいく。
  - ⇒ア) 国土交通省データプラットフォームとのデータ連携
    - イ) スケジュール
      - ・R3:現状調査、仕様書作成、一部データ化
      - ・R4:システム開発に着手、一部運用開始、随時データ化
      - ・R5:国交省と連携開始

(5) 九地協「事業推進協議会(i-Con 推進)」に関する調査・研究

- ・今年度の調査には46社(65.7%)が回答。熊本県の調査結果は各社に報告済み(8月上旬)

## 4. 関係行政機関への要望

(1) 国土交通省九州地方整備局との意見交換会

- ・令和3年12月10日 福岡市 <出席者>藤本会長、内田副会長、吉田理事  
《意見交換項目》
  - ① 「防災・減災、国土強靱化」の着実な推進と安定的な予算確保
  - ② 経営環境改善に関すること
    - ア. 土木コンサル業務の地域コンサルへの発注増

(県内本店の要件物件の増、チャレンジ型物件の増、測量と設計の分離など)

イ. 低入札調査基準価格の引上げ

③ 災害対応に関すること

災害業務委託の早期契約、災害業務委託費の積算歩掛と災害査定、災害時の労働時間超過による割増単価、災害時の労働環境改善

④ i-Con 推進に関すること

国から地方自治体の取組促進への支援、作業効率を考慮した発注、歩掛に面積作業量補正及び諸経費の見直し、公表歩掛の設定など

⑤ 担い手確保・推進に関すること

業務の履行期間の平準化、将来の担い手を確保・育成するための経営環境整備

## (2) 国土交通省九州地方整備局県内事務所との意見交換会

・令和3年4月22日 熊本市 <出席者>役員

《意見交換項目》

① 防災、減災、国土強靱化の予算確保と委託分野への配分(設計、用地ストック)

② 地元企業の受注機会拡大

・入札参加資格要件「熊本県内に本店」の適用業務の拡大、技術提案チャレンジ型試行業務の拡大

### 【協会の要望に対する国の考え】

**※総合評価落札方式では、県内企業の15社～20社が応募してもらわないと「熊本県内に本店」の地域要件を適用できない。**

③ 低入札調査基準価格の引上げ

④ 県内国土交通省各事務所と県内業者との災害協定の締結促進、

⑤ 令和2年7月豪雨災害関係

・災害業務優先に伴う通常業務の履行期限延伸措置  
・大規模災害時の制度見直し(査定期間の柔軟な措置、標準災害積算歩掛の制定、自治体の契約の迅速化、測量設計業務における復興係数・復興歩掛の特例措置の創設)

⑥ 働き方改革関係

・業務の履行期限の平準化、業務打合せにおけるWeb会議の活用、建設産業のイメージアップの取組促進

⑦ 「i-Construction」・「BIM/CIM」導入促進(公共事業に係る UAV 業務の地元活用)

## (3) 自由民主党熊本県支部連合会・熊本県土木部・農林水産部との意見交換会

・令和3年11月30日 熊本市 <出席者>役員

《意見交換項目》

① 国土強靱化、「災害に強い県土づくり」のための自然災害防止対策事業に必要な予算の確保

② 通常予算及び既存インフラの維持管理(点検・調査)に必要な予算の確保

③ 県内企業の優先活用と育成

ア. 橋梁の補修設計及び耐震補修設計での県外・県内JV制度の更なる導入

イ. 舗装補修設計(路面性状調査(MCI調査))での県内企業の活用

- ウ. 治山事業における測量設計等での更なる県内企業の活用
- ④ 品質の確保と経営環境の改善
  - ア. 履行期限(納期)の平準化
  - イ. 改正品格法を踏まえ、県内市町村での最低制限価格制度の設定
  - ウ. 公共土木施設台帳システムの整備促進
  - エ. 「i-Construction」「BIM/CIM」対象の測量設計業務での発注促進
  - オ. 担い手確保への取組に対する補助制度の充実と中学生への体験学習等の構築・実施
  - カ. 県・市町村の「指名願い」等の提出書類の統一化等
  - キ. 契約の電子化
- ⑤ 大規模災害時の対応の在り方
  - ア. 積算の改善
    - ア) 地域振興局毎における積算項目の統一
    - イ) 河川災害は、数河川合算ではなく河川毎に測量・設計数量の計上
    - ウ) 河川災害復旧事業測量設計業務委託で、伐採・除草に伴う集積・積込・運搬・処分費の計上 など
  - イ. 大規模災害時の簡素化査定のあり方
  - ウ. 大規模災害時と改正労働基準法による時間外労働の上限規制

#### (4)熊本市都市建設局、契約関係幹部との意見交換会

・令和4年3月22日 熊本市 <出席者>会長、副会長、専務理事

【要望書の手渡し、後日文書で回答】

《意見交換項目》

- ①地元企業(協会員)の受注機会の拡大  
(指名競争入札(予定価格1千万円未満))
  - ・一定割合以上の業務実績がある業者の指名選定
  - ・熊本市と大規模災害の支援協定を締結している当協会員の優先的指名  
(条件付一般競争入札(予定価格1千万円以上))
  - ・条件付一般競争入札における「熊本市内に本店」とする地域要件業務の拡大
  - ・手持ち・落札制限のない入札後審査方式(技術要件設定型)の発注増
  - ・複数受注制限の緩和
  - ・業務等成績評点の導入
- ②大規模災害時の対応の在り方
  - ・入札、契約方法、積算歩掛(簡素化査定用歩掛)、県外支援時の旅費宿泊費等
  - ・大規模災害時の支援協定の取扱い(無償支援期間の取扱い)
- ③働き方改革への共通理解
  - ・履行期限の平準化
  - ・県・市町村の「指名願い」の提出書類の統一等
  - ・電子契約の早期導入
- ④技術者育成
  - ・現場研修や技術的交流の継続的取組み
- ⑤「i-Construction」・「BIM/CIM」導入促進